

助成事業完了報告書

報告日付:2014年4月10日
事業ID:2012059328
事業名:食介護サポート・コミュニティづくりのための
講習会の開催
団体名:一般社団法人ゆにしあ
代表者名:池田百合子
TEL:023-666-6244
FAX:023-666-6244
事業完了日:平成26年3月31日

事業費総額	2,754,425	円 (収支計算書に記載する決算額)
自己負担額	564,425	円
助成金額	2,190,000	円 (千円未満は切り捨て)

事業内容:

家庭での介護において、とりわけ、嚥下障害など食に問題を抱える療養者を抱える家族にとって、介護食の調理や食事介助に関する知識や方法を身につけることは容易ではなく、低栄養や誤嚥から起きる肺炎といった療養者の状態の悪化のみならず、介護の負担の大きさから家族もまた健康を害してしまう傾向にあります。そこで、本事業は、自宅で療養者の状態に合わせた食介護方法を家族に対して指導することにより、療養者の健康状態の向上と家族の介護負担を軽減することを目的に、1) 家庭介護者とそれを支える地域住民のため食介護講習会の開催、2) 家庭介護者向けの食介護情報誌・レシピ集の発行、および3) 食介護情報に関する報告会の開催を実施しました。

1、介護者家族のための食介護講習会

- (1) 時期:2013年6月～2014年3月
- (2) 山形県内13箇所
- (3) 参加者:介護者家族及びその予備軍、地域の介護支援者
- (4) 内容:介護者家族教室・フォローアップ交流会
食介護情報の提供、食事介助・介護食調理体験

13会場、29回開催し、延べ212名にご参加いただきました。

<介護者家族教室・フォローアップ交流会開催一覧>

開催場所	連携団体	開催日時	参加人数
上山市 (上山市保健センター)	協力:上山市健康推進課	6月18日(火)	7名
		6月28日(金)	6名
山形市 (南沼原コミュニティセンター)	後援:山形市 協力:南沼原コミュニティセンター	7月17日(水)	5名
		7月26日(金)	9名
ゆにしあ相談カフェ		8月24日(土)	2名
東根市 (さくらんぼタントクルセンター)	協力:東根市	8月20日(火)	6名
		8月30日(金)	9名
ゆにしあ相談カフェ		9月28日(土)	3名
米沢市(ジャスミンの家)	協力:鈴木ファーム	9月26日(木)	10名
村山市(クワハウス基点)	共同開催:村山市社会福祉協議会	10月19日(土)	12名
ゆにしあ相談カフェ		10月26日(金)	4名
村山市 (飯葉プラザ)	協力:村山市	10月29日(火)	7名
		11月9日(土)	8名
ゆにしあ相談カフェ		11月30日(土)	0名
河北町 (河北町職業訓練センター)	後援:河北町	11月12日(火)	6名
		11月22日(金)	9名
山形市(とかみふれあいセンター)		11月26日(火)	15名
山形市 (中央公民館)	後援:山形市	12月6日(火)	3名
		12月12日(金)	3名
ゆにしあ相談カフェ		12月14日(土)	4名
東根市 (東根市さくらんぼタントクルセンター)	共同開催:東根市社会福祉協議会	12月14日(土)	46名
ゆにしあ相談カフェ		1月11日(土)	1名
中山町 (勤労文化センター)	後援:中山町	1月17日(金)	1名
		1月21日(火)	0名
ゆにしあ相談カフェ		2月8日(土)	0名
寒河江市 (寒河江市ハートフルセンター)	後援:寒河江市	2月6日(木)	10名
		2月18日(火)	15名
山形市 (鈴川コミュニティセンター)	後援:山形市	3月6日(木)	5名
		3月11日(火)	6名
合計			212名

2. 食介護情報の提供

1) ゆにしあ通信の発行

013号	4月発行	3,000部
014号	6月発行	3,000部
015号	8月発行	3,000部
016号	10月発行	3,000部
018号	12月発行	3,000部
019号	2月発行	3,000部

- 配布場所：教室や講演の参加者、問い合わせをいただいた方などの個人はもちろんのこと、家族会や自宅での介護支援を行う各団体へ配布のご協力をお願いしています。また、団体ホームページにてダウンロードできるようにし、WEBによる広報も行っています。村山地域以外で、庄内地区や置賜地区などから介護者家族個人からのお問い合わせがあり、発送を行っています。

※山形県村山地域の病院3件（北村山公立病院、みゆき会病院、済生病院）、クリニック3件（細谷醫院、前田クリニック、南沼原内科医院）、居宅介護支援事業所63カ所、地域包括支援センター12カ所、市民団体80団体、山形県難病支援センター、山形県介護学習センター、山形市役所長寿支援課、とかみふれあいセンター、認知症の人と家族の会の会員100名、山形県栄養士会、山形県医師会、山形県看護協会、山形県歯科医師会、山形県歯科衛生士会、山形県介護支援専門員協会、山形県言語聴覚士会、山形県理学療法士会、社会福祉協議会、コミュニティセンター、教室参加者、講演参加者 など

2) 『家族だんらんレシピ』の発行 2,000部

- 配布場所：教室・報告会の参加者、医療介護関係機関を通しての配布197カ所の他、山形新聞に取り上げていただき、新聞記事を電話問い合わせをいただいた方に郵送対応しました。

<新聞を見た方からの問い合わせ>

- ・個人65名（計77部）
- ・団体（NPO法人、訪問看護ステーション、食生活改善推進員、福祉協力員、市立図書館、シルバー人材センターなど）7団体186部

3、報告会

- (1) 時期：2014年3月1日
- (2) 場所：天童温泉栄屋ホテル
- (3) 参加者：医療・介護関係者、中間支援団体、地域の介護支援者、介護者家族など
43名
- (4) 内容：介護者家族教室の実績報告
食介護情報の提供、食事介助・介護食調理体験の実演、教室の様子を紹介、
成果物の紹介など

事業目標の達成状況:

1、目標の達成状況と評価

1) 介護者家族のための食介護講習会

当初、山形県村山地域10カ所で計30回を予定していましたが、村山地域以外からの要望があり、村山地域に限らず山形県内全域で計29回開催しました。

参加人数は177名（延べ212名）で、目標200名の89%の参加率でした。

参加人数は関心度や人口、季節的な問題（4～10月農繁期、1月～2月積雪）や地域差がありましたが、参加者が少なかった回については、時期や気候の問題以外には、山形は三世同居が多く、介護をしながら孫の世話をしている家族にとっては外出が困難な場合があること、状態が不安定な重度の療養者を抱える家族は直前にキャンセルとなってしまう傾向があることが判明。一方で、介護者家族は時間がなく、リアルタイムで市報や新聞などの情報を得ることができていないものの、介護をしていない方が情報を見て介護者に情報提供を行ったり、主介護者以外の家族が情報を仲介するケースも見られたため、必要とされる家族に必要な情報を届けるためにはより効果的な周知方法を確立する必要性もあることを学びました。

この1年での実績によって、家族や地域の方向けの講座や教室の土台ができ、助成終了後も継続して開催をしていく準備が整ったと考えます。4月以降の開催の問い合わせの電話も来ており、今後は地域の団体、医療・福祉関係機関、行政などに提案を行い、継続して開催していく方向です。

2) 食介護情報の提供

食介護情報誌は予定通り発行でき、医療・介護関係機関・行政などの協力を得て、介護者家族への配布ができました。介護者家族は介護負担から時間的・精神的な余裕がなく、教室参加による情報提供よりも簡易的に情報を得られる情報誌を望む傾向があると感じました。継続配布している団体などもありますが、今回は多くの場合設置や教室参加者や地域での会合や地域住民への講話などの際に配布したため、単発でしか情報を届けられていない課題も見えてきました。

他の地域、県外からの要望などもあることから、団体ホームページでの公開も行いました。また、今回や教室参加者や電話などで家族と同じ食事をアレンジできるようなレシピ情報の配信を希望する声が多く聞かれたことから、「家族だんらんレシピ」の作成を行い、配布を行いました。山形県内にとどまらず、他県からのホームページやfacebookを通して問い合わせをいただき、配布を行っています。訪問看護ステーションや地域住民の方からはレシピ集をコピーして訪問時に療養者様やそのご家族にお渡し頂いているとのことで、自分で情報を集められないご高齢の方にも医療・介護の専門職や地域の方を通して情報が届けることができることがわかりました。

本事業を通じて、チラシやポスターを作成できたことにより、潜在化しており、誰も課題とすら感じていなかった「食事に関する介護」について、サポート体制や正しい方法が存在しているということの周知に繋がったと考えます。

地域住民、介護者家族同士、メディア、医療・介護専門職などを通して、徐々に認識されるきっかけを作ることができたため、個人や医療・介護関係者からの個別の相談も増えてきており、この事業を通じて、より問題への解決を提供する関係者層を広げることができたと思います。

2、今後の対応について

教室の開催については満足度は高いものの、介護負担や家庭の状況などから外出しての教室参加が困難であることから、介護者家族向けの負担なく作れるレシピや食介護の注意点などの継続的な情報提供を行っていきたいと思います。今後は2014年度事業である「介護者家族向けの情報サイトによる情報発信」を通して、療養者や介護者家族の状況に合わせた情報発信、早期から対応するための介護予防のための食叙法発信を目指していきたいと考えています。

また、教室開催については社会福祉協議会や老人クラブ、町内会などの地域住民の関心も高く、さらには医療・介護の専門職からの参加要望も多かったことから、今後は介護真っ只中の忙しい介護者家族に代わって情報を得て伝えていただける医療・介護の専門職や地域住民を対象に実施を行い、間接的に安全で介護の負担を軽減できる正しい食介護情報を届けることを新たに実施していきたいと考えています。

実際、医療・介護専門職からの問い合わせが多く、医療・介護専門職の食に関する介護の知識不足やニーズがあることを把握することができたので、今後はさらに医療・介護専門職の教育を通して、間接的に介護者家族に情報を届けるルートの開拓できると考えます。医療・専門職への教育研修の土台づくりにも力を入れつつ、山形県内だけでなく、同様の課題を認識する他県からの研修依頼にも対応していきたい考えです。

事業成果物:

1、テキスト

300部

2、案内ポスター

100部

3、案内チラシ

上山教室	600部
山形南沼原教室	4,000部
東根教室	600部
村山教室	900部
河北教室	400部
山形中央教室	4,000部
中山教室	300部
寒河江教室	600部
山形鈴川教室	2,000部

4、食介護情報誌

013号	4月発行	3,000部
014号	6月発行	3,000部
015号	8月発行	3,000部
016号	10月発行	3,000部
018号	12月発行	3,000部
019号	2月発行	3,000部

5、食介護情報誌

『家族だんらんレシピ』の発行 2,000部

収支計算書
(2013年4月1日から2014年3月31日まで)

収入の部 (単位:円)

科目	予算額	決算額	受入済額	未調達額	備考
日本財団助成金収入	2,190,000	2,190,000	2,190,000	0	
自己負担	550,000	564,425	564,425	0	
収入合計	2,740,000	2,754,425	2,754,425	0	

支出の部

科目	予算額	決算額	支出済額	未払額	備考
委託費	170,000	154,875			
通信費	195,000	258,280			
機材備品消耗品費	895,000	930,670			
印刷・複写費	300,000	248,740			
事務局運営費	1,040,000	1,020,000			
その他の諸経費	140,000	141,860			
支出合計	2,740,000	2,754,425			